

日本は結核の中蔓延国です！

結核は、結核菌によって主に肺に炎症を起こす病気です。
日本は世界の中では依然「中まん延国」とされています。

どのように感染する？

痰に結核菌がいる人が、咳やくしゃみをする事で菌が空気中に飛び散り、それを周りの人が吸い込むことによって感染します。



感染するとすぐに発病する？

感染しても発病するとは限りません。健康な人は、免疫の働きによって結核菌の増殖が抑えられるからです。

発病するのは、その時の体調や栄養状態によって免疫機能が働かずに抵抗力が低下している人です。

どのような症状がでる？

長引く咳
(2週間以上)

痰
(特に血痰)

長引く
微熱

長引く倦怠感
(体がだるく、活力が出ない)

若い世代の多くは結核菌に未感染のため、菌を吸い込むと感染しやすく、比較的早い時期に発病する危険があります。

怖いのは、自分が感染していることに気づかず、日常生活を続けているうちに進行してしまい、学校や職場で集団感染を引き起こしてしまうことです。

そのため、愛媛大学では

学生寮（御幸宿舎・拓翠寮・国際交流会館・あいジデンス）に入居している方に、毎年定期健康診断で胸部レントゲン検査を受診することを必須としています。

※その他胸部レントゲン検査の対象者：

新生入生・問診上必要な者・復学者・高蔓延国渡航歴のある者・実習後等

症状がないうちに早期発見するためにも上記の対象者は必ず年に1回、定期健康診断を受診し胸部レントゲン検査を受けましょう。

